

20年度 学校プロフィール

鈴鹿市立天栄中学校

記述項目	記述内容			
1 目指す学校像	信頼される学校 学校教育目標：心豊かにつながる生徒の育成 ・仲間を大切にし、思いを出し合い、支え合う生徒 ・自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする生徒 ・規範意識を身に付け、夢をもち続ける明るく元気な生徒			
2 「価値」を提供する相手方について ①相手方の区分	生徒	保護者・地域住民		進路先
②現在の要求・期待	・わかる授業 ・居心地の良い楽しい学校生活 ・信頼できる人間関係	・基礎学力の定着と学力の向上 ・安心・安全な学校 ・開かれた学校	・たくましく、主体的に行動する生徒	
③要求・期待の将来	・個に応じた教育の充実 ・体験的な学習の充実 ・心が安定する生活	・地域活性化の核となる生徒の育成 ・規範意識の向上	・豊かな人間性	
3 学校を取り巻く環境変化について	①農村地帯と急激に増加した新興住宅地域からなる。 ②保護者の価値観が多様化している。 ③学校教育への関心や期待が高い。			
4 教職員の人材育成について	自校の職員としての誇りと自信がもてるように ①確かな学力育成の実践研究（全教科での取り組み） ②人権教育・生徒指導にかかわる研修の充実（研修会） ③授業研究の実施，教育力の向上 ④教育研修会への積極的参加と研修内容の還流			
5 パートナーについて ①主要パートナー	保護者	地域住民	校区の関連 幼小中(園)学校	教育委員会 関係諸機関
②パートナーとの関係の将来変化	学校教育のあらゆる面で重要なパートナーとなる。	自治会など各種団体は、学校教育の理解者・協力者となる。	諸々の情報交換や幼小中の連携強化が必要となる。	総合的な調整役相談役となる。
6 学校経営の基本方針について	(1) 教職員と生徒、及び生徒相互の人間関係を深め、信頼の絆で結ばれた温かみのある明るい学校づくりをめざす。 (2) 教職員の和と相互信頼を基本に、活力に満ちた教育活動を展開する。 (3) 互いの人権を尊重し、仲間を大切にするとともに支え合う集団づくりを推進する。 (4) 日ごろの教育実践を通して研修を深め、指導力の向上に努める。 (5) 中1ギャップの解消に取り組むとともに、生徒理解に努め、教育愛に満ちた生徒指導の充実を図る。 (6) 家庭・地域との連携を密にし、きめ細かい生徒指導と開かれた学校づくりに努める。 (7) 充実した学校生活が送れるような環境づくりに努める。			
7 その他情報 ①生徒数 ②教職員数	①生徒数 438名 普通学級 13学級，特別支援学級 2学級（減少傾向） ②教職員数 44名（労務員 1・介助員 2・校医 5・スクールカウンセラー 1を含む）			